

色が変わる?! UV ビーズ工作

■プログラムの概要

ねらい	紫外線を身近に感じるきっかけを作る。		
キーワード	身近な自然		
対象	小学生全学年		
時間	30分～40分	実施場所	室内（室外数分程度）
使用するもの	A～C 共通：UV チェックビーズ A：モールを使用する場合 モール・安全ピンや刺しゅう糸、フェルトなど B：プラバンを使用する場合 プラバン、刺しゅう糸、トースターなど C：アイロンビーズを使用する場合 アイロンビーズ、型枠、アイロン、ゴムひもなど		
全体の流れ	1. 導入 作業手順などの説明 2. UV ビーズ工作 ランドセルやサブバックにつけられるように安全ピンやひもをつける。 A：モールの場合…モールで昆虫や花などを作り、目や芯の部分に UV ビーズをつける。 B：プラバンの場合…下絵を使用して絵のもの、リボンなどの型にしたものなどを製作し、根付の部分に UV ビーズをつける。 C：アイロンビーズの場合…プラバン同様アイロンビーズでマスコットを製作し、根付の部分に UV ビーズをつける。プレスレットの場合は、ゴムひもを使用しアイロンビーズの間に UV ビーズを数個入れる。 3. まとめ 完成したものを持って数分間外に出る。色が変わることで、紫外線という光線が太陽から出ていることを知る機会にする。 （日焼けするのは、紫外線・紫外線は何に使われるか…などの話を簡単に行い、興味を持てる土台を作る）		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<p><導入></p> <p>今日は何を製作するかを子ども達に伝え、作業の手順を確認する。</p>	
20分	<p><UVビーズ工作></p> <p>A：モールの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モールで昆虫や、花の形を作っていく。 ・形を作っていく際に、UVビーズは、昆虫の目や花の茎や軸になる部分に通す。 ・モールで昆虫の触覚、フェルトなどで胴体を作ってもよい。 <p>B：プラバンの場合</p> <p>下絵など描いて作ったプラバンや、リボンやキャンディーなどの形に仕上げたプラバンにひもなどをつけて、根付の部分にUVビーズをつける。</p> <p>C：アイロンビーズの場合</p> <p>アイロンビーズでマスコットを製作し、ひもなどをつけて、根付の部分にUVビーズをつける。プレスレットの場合、アイロンビーズとゴムひもなどを使用し、間にUVビーズを入れて完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の状況に合わせて内容を決める。 <p>出来上がったら、実際に外に出て色が変わることを確認し、紫外線が身近な存在であることを確認する。</p>
10分	<p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紫外線って何？ ・どんなことに使われる？ <p>などを話し、まとめの作業とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・強いエネルギーも持つ <p>◇メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新陳代謝を高める ・ビタミンDを生成する ・強い殺菌作用を持つ <p>◇デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日焼けの原因 ・ダメージを与える（皮膚がん、白内障などの病気の原因、免疫力の低下、しわなどの原因） <p>など、興味を持たせる程度の簡単な話にとどめる。</p>

■使用するもの

物品名	数量	備考
UVチェックビーズ	1人2個	
プラバン・モール・アイロンビーズなど	必要数	工作する内容で準備する物も変わります。